

# 保育キャリア基礎研修（数的推理）授業を見学して

保育児童学部 教授  
修士（児童学） 飯田昌男

保育キャリア基礎演習（数的理解）に参加をさせていただきありがとうございました。授業の始めに、中島総長先生の池袋キャンパス保育児童学部1年生への励ましのお言葉をかけておられました。具体的には、授業にしっかり取り組んで自らを向上させて欲しいことや公務員保育士に合格すれば生活が安定するなど、特に公務員試験での理数関係の問題は得点差が大きく出る科目なので頑張ってもらいたい、という内容でした。

今回は、近藤先生担当の数的推理の授業でした。この進め方においては、以下のようなものでした。①学生を指名して問題を読んでもらう。②この問題のポイントの文章に赤色で囲って示したり、下線を引いて説明をした。③解説の文章も学生を指名して読んでもらった。そして、大切な部分に下線を引かせていた。④問題全体を通して、その理由を関連付けて暗記する。⑤類題1の場合は、正答は示してあるので先ほどの問題と同様に割る数の大きい数字を先に行い、式に当てはめて解く。学生を指名して解き方を話してもらい確認をする。そしてその解き方の手順を暗記する。⑥類題2も前述の⑤と同様に進めた。学生を指名してどうやって導き出したのかを発表してもらい確認させた。⑦残りの類題3, 4, 5を解く。時間は6分。⑧答えの導き方を発表してもらい確認する。

中島総長先生から、分かる学生や分からない学生がいるが、全員がわかるように教える。そして、次に進める。分からない学生を無視して次に進むことはしない。フォーダム大学やハーバード大学では私は外国人であったがわかるように教えてくれた。その代わり私は頑張って博士号を取得することができた。と、アメリカでの学習体験の一場面をおっしゃってくださいました。そして、学生には今日の復習やこれからの学習もコツコツと努力をして今後同じ問題が出たら、できるようにしましょう。と、励ましのお言葉をおくってくださいました。

何度も繰り返し学習することで定着させることや、わかりやすい言葉で優しく話すことは、学生自身に理解できたことの喜びや安心感を持つことに繋がると考えます。その点においては、普段から心掛けていこうと思っています。そして、学生同士コミュニケーションを取らせながら学生自身に考えさせて、保育の知識や技術も深めてもらえるようにと、進めていきたいと考えています。